

-収集した情報の利用方法について-

1. 政策提言と行政との連携

- 1) 要望書の提出：企業の声を行政に届け、支援を求めます。
- 2) 公共プロジェクト参加：社会貢献活動への参加を奨励します。
- 3) 行政との定期的な対話：企業と行政の橋渡しをします。

2. 地域経済の活性化

- 1) ビジネスマッチングイベント：企業同士をつなげ、新しい商機を生み出します。
- 2) 地域特産品の PR：地元の商品やサービスをイベントやネットでアピールします。
- 3) 起業支援プログラム：新しいビジネスの立ち上げを支援します。

3. 経営サポートと教育

- 1) 経営相談会：専門家が企業の問題にアドバイスします。
- 2) 経営者セミナー：経営戦略やデジタル化について学びます。
- 3) スキルアップ研修：従業員の能力向上を図る研修を提供します。

4. 情報共有とコミュニケーション

- 1) ニュースレター発行：地域の経済動向や成功事例を紹介します。
- 2) オンラインコミュニティ：企業同士の情報交換を促します。
- 3) 情報交流イベント：直接顔を合わせて情報交換できる場を設けます。

5. BCP（事業継続計画）の活用

- 1) BCP ワークショップ：災害に強い企業づくりをサポートします。
- 2) リスク共有の取り組み：異業種間で情報を共有し、危機に備えます。
- 3) 緊急時の支援体制：災害時に迅速に情報を共有し、相互支援します。

6. SDGs への取り組み

- 1) 持続可能な経営支援：SDGs に沿ったビジネスモデルを提案します。
- 2) エコ活動の推進：環境に優しい取り組みを紹介し、実践します。
- 3) 社会貢献プロジェクト：地域の課題解決に貢献する活動を支援します。